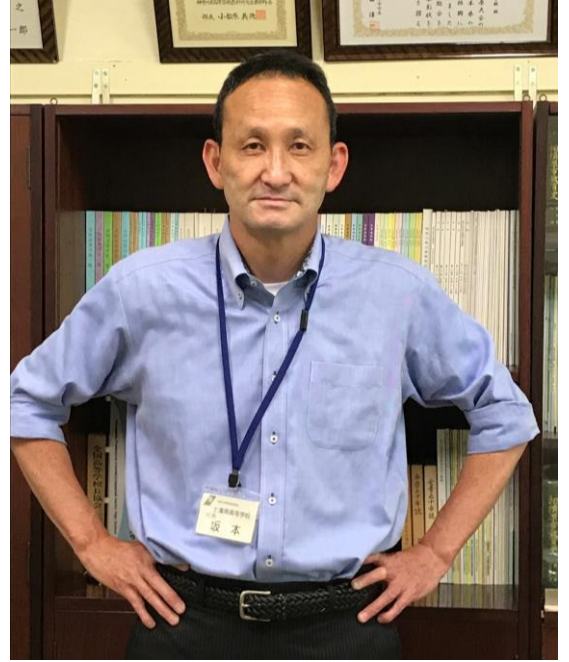


上溝南高校広報ページ「未来に向かって、君の番だ！」

vol. 2「校長先生にインタビュー」

-まず、お名前と前所属先を教えてください。

名前は坂本聡志です。上溝南高校に来る前は、県立スポーツセンターで勤務していました。県立スポーツセンターは、令和2年にリニューアルオープンして、オリンピックやパラリンピックの事前キャンプにも使用します。



-着任前の上溝南高校の印象はどうでしたか？

私自身、高校時代に陸上競技でインターハイに出場しました。その時、上溝南高校の選手とホテルで同じ部屋でした。何かの縁を感じますね。あと、勉強も部活も一生懸命やる文武両道の学校かなという印象がありましたね。

-本年度の学校のスローガンとして「チャレンジからその先の自分へ」というスローガンを掲げることになりましたがそのスローガンに対する想いがあれば教えてください。

チームでチャレンジという言葉が前々任の校長先生から使われていました。今までは、集団の中でみんなで一緒に頑張ろうというものだったと思います。さらに、その先に進むためには、やはり個々の力を高めていくことが必要かなと思います。自分の可能性をどんどん広げるためにも、「昨日より今日、今日より明日」という気持ちが大切だと思います。多くの先生方に上南生の印象を聞くと、すごく素直で良い子たちで、一生懸命取り組んでいるけれど、もっともっと力を発揮できるのではないかと聞きました。そこで、自分の可能性を信じて失敗してもいいから、どんどんチャレンジして欲しいと思い、このスローガンにしました。

-校長先生は、チャレンジしてよかったと思える経験は何かありましたか？

高校1年生から陸上で関東大会に出場することができました。良い成績を収めたいと思い、近くのお寺の階段で必死にジャンプ力を鍛えるためにトレーニングを行いました。しかし、トレーニングのし過ぎで、大会前に調整ミスをしてしまいました。これは失敗談ですが、その挑戦があったからこそ、次の年に良い成績を収めることができました。ある意味、その失敗があったけども、その時に自分自身を極限まで追い込めたからこそ、今があるかなと思います。

-校長先生の趣味は何ですか？

野球を見るのが大好きです。実は、高校でも野球をやりたいと思っていましたが、陸上で芽が出たので続けました。今では、家へ帰ってジャイアンツの試合を観ることが楽しみです。時々、球場にも足を運んで応援しています。ずっと昔ですが、長嶋監督と王監督が日本シリーズで戦った試合も見にいきました。とても良い思い出です！あとは、保健体育科の教員なので、今でもジムに通って体を鍛えています。

-最後に在校生に一言！

1番伝えたいことは、「やらないことが1番ダメだ」ということです。失敗してもいいから、まずはチャレンジすることです。失敗から学ぶことが必ずありますから。サッカーも、シュートをしないとゴールは生まれません。在校生の皆さんには、どんどん失敗を恐れず挑戦して欲しいと思います。